

第2号議案

令和6年度事業報告及び決算について

令和6年度事業報告書



登櫓礼(とうしょうれい) <2024.6.2>

公益財団法人 帆船日本丸記念財団

目次

1	令和6年（2024年）度事業概観等	1
2	帆船日本丸事業	3
3	横浜みなと博物館事業	8
4	みなとの賑わい創出事業	13
5	緑地管理・活用及び研修施設事業	15
6	集客増に向けた主な取組	17
7	組織運営の質的向上に向けた取組	19
8	令和6年（2024年）度事業一覧表	21

1 令和6年（2024年）度事業概観等

(1) 施設概要

- ア 施設名
日本丸メモリアルパーク
- イ 所在地
横浜市西区みなとみらい二丁目1番1号
- ウ 対象施設等
 - (ア) 帆船日本丸（国指定重要文化財）
総トン数 2,278t
 - (イ) 横浜みなと博物館
7,155.31 m²
 - (ウ) 研修施設
873 m²
 - (エ) 緑地
38,778 m²
 - (オ) その他
タワー4棟

(2) 施設管理者

- ア 受託団体
公益財団法人帆船日本丸記念財団
- イ 代表者
理事長 伊藤 友道
- ウ 所在地
横浜市西区みなとみらい二丁目1番1号
- エ 財団設立
昭和59年（1984年）10月1日
※平成23年（2011年）6月1日 公益財団法人へ移行
- オ 指定管理期間（第4期）
令和4年（2022年）4月1日から令和14年（2032年）3月31日まで

(3) 事業概観

令和6年（2024年）度は第4期指定管理の3年目であり、当財団においては設立40周年を迎えた年となりました。ボランティアの皆さんの日々の活動を始め、関係者の協力に支えていただきながら、順調に運営を進めることができました。

これまで休止していた名誉船長会及びボランティア感謝会につきまして開催方法に配慮しながら5年ぶりに再開するなど、コロナ禍で制限していた行事を徐々に実施することによりあらためて関係者相互の連帯感を高めました。



名誉船長会(財団事業説明)



ボランティア感謝会

【年次計画の目標】

目標項目	6年度目標値	6年度実績 (5年度実績)	対5年度比
帆船日本丸及び横浜みなと博物館の有料入場者数	85,000 人	90,189 人 (87,917 人)	102.6%
日本丸メモリアルパーク利用者数	500,000 人	651,014 人 (448,108 人)	145.3%
お客様満足度	97%以上	99.0% (99.1%)	0.1 ポイント減
効率的な財政運営・人材育成及び風通しの良い職場作り	推進	推進	推進

(4) 安全対策

日々の安全対策については、パーク内の巡回パトロールを24時間行いました。感染症対策については、施設入口への消毒薬の設置を継続しました。大雨や強風などの自然災害への備えについては、防災設備の確認や止水板設置訓練を実施しました。日本丸メモリアルパークを訪れる全てのお客様が安心して過ごせるよう、全職員による点検を進めています。

2 帆船日本丸事業

帆船日本丸は船齢95歳となりました。国指定重要文化財として評価された、現在希少な存在となっているリベット構造と残存する建造時の鋼材や木質及び戦後復旧された帆装艤装等を永く保存するため、職員による船体の整備、美観保持作業等を日々継続しました。

保存事業においては、ミズン及びジガー（前から3番目及び4番目）マストの帆装艤装に着目し、特に経年劣化が著しい部分の交換工事を実施しました。また、著しい腐食がみられた上甲板右舷後部にある非常口床面、第三甲板後部にある旧冷蔵庫内壁面及び床面の補修を併せて実施しました。これらの工事は、文化庁、神奈川県及び横浜市と事前に協議した上、横浜市発注による国庫補助事業として行いました。

一方、財団発注工事として、非常用発電機の分解手入れやステンドグラスの補修等を行いました。また、昭和27年（1952年）に実施された戦後初の帆装艤装復旧当時から使用しているフォアマスト（一番前のマスト）及びミズンマストの上から2番目に取り付けられている木製ヤードを取り外し、岸壁上で専門業者による補修を行いました。なお、同木製ヤードの総塗装をはじめ、その他全てのマスト及びヤード塗装については、「長期船体整備計画」に基づき財団職員が実施しています。

公開事業においては、帆船日本丸を活用した参加・体験型事業の講座「日本丸飾り毛布体験教室」及び「戦後80年 戦火をくぐった日本丸」を実施しました。

青少年錬成事業においては、通常の海洋教室に加え、令和5年度から始めた「出張海洋教室」として、「ほどがや区民まつり」に参加しました。

これらに加え、子ども向け船の講座「潜水艇を作ってみよう」等の開催や、船内展示の定期的な内容更新（第二甲板展示室等）を行い、リピーターの確保に努めました。



出張海洋教室（ほどがや区民祭り）



大人向け船の講座
「戦後80年 戦火をくぐった日本丸」

(1) 保存事業

国指定重要文化財帆船日本丸の美しい姿を末永く保存するため、次の整備を実施しました。

ア 日常保守点検

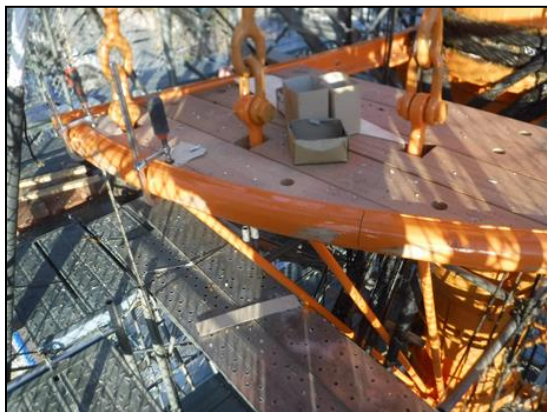
- ・乗船者見学通路・公開区域の安全点検、整備、美観保持
- ・船体鋼材の発錆部整備及び船内真ちゅう磨き
- ・マスト、ヤードその他帆装艀装の点検・整備
- ・船体木部の点検・整備

イ 災害防止

- ・乗船者及び甲板整備協力者の安全確保
- ・船内防災センターにおける火災、浸水、地震及び不法侵入者等に備えた24時間体制の集中監視

ウ 年次船体整備点検・整備

- ・第一種中間検査受検工事
- ・ミズンマスト及びジガーマスト・トップボードファットックシュラウド交換
- ・ミズンマスト及びジガーマスト・トップボード交換
- ・ミズンマスト及びジガーマスト・ゲルンボードファットックシュラウド交換
- ・ミズンマスト・ゲルンボード交換
- ・ミズンマスト・ハリヤードタイ、シーブ交換
- ・ミズンマスト及びジガーマストバックステイ白塗装部塗膜剥離及び白ペイント塗装
- ・ミズンマスト及びジガーマスト・ポール、マストトラック塗膜剥離及び塗装
- ・ジガーマスト・トップボード上バッテン材（静索用当て木）交換
- ・上甲板右舷後部非常口床面腐食部補修及び塗装
- ・第三甲板旧冷蔵庫内壁面及び床面補修及び塗装
- ・木製ヤード（フォア・ミズンアッパーゲルンヤード）補修（本船作業で総塗装）
- ・マスト及びヤード総塗装（本船作業・来年度も引き続き実施）
- ・メインマスト・各ステイ（前方支持索）ター塗装（本船作業）
- ・非常用発電機原動機開放整備
- ・ビルジポンプ開放整備
- ・士官サロンステンドグラス補修
- ・訓練生及び乗組員ボンクマット交換



ミズンマスト・トップボード及び
ファットックシュラウド交換



ミズン・ゲルンマスト
ポール及びマストトラック塗装



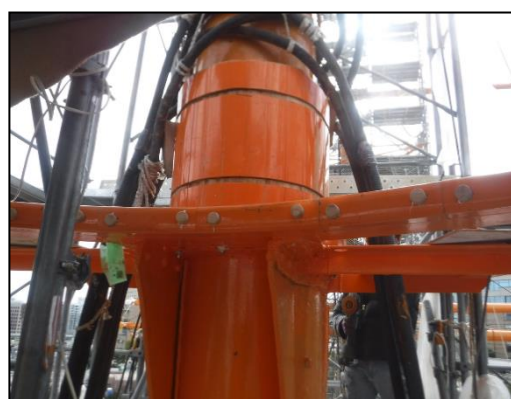
ミズンマスト・アッパーゲルン
ハリヤードタイ、シーブ交換



ミズンマスト
バックステイ塗装



第三甲板旧冷蔵庫内壁面及び床面補修



ジガーマスト・トップボード上
バッテン材（静索用当て木）交換



非常用発電機（原動機）開放整備



木製ヤード補修



ステンドグラス補修



マスト・ヤード総塗装（本船作業）

(2) 公開事業

帆船日本丸船内を年間 277 日公開しました。総帆展帆(一部部分展帆)を 12 回、満船飾を 14 回実施しました。(11 月 3 日は両方実施)

令和 6 年(2024 年)度は、展帆ボランティアの安全と健康を第一に考え、猛暑期である 7 月及び 8 月期の総帆展帆を取りやめました。また、例年「海の日」に行っていた登檣礼を 6 月 2 日(日)「横浜開港記念日」に実施しました。その他、ガイドボランティアについては、熱中症警戒アラートが発令されたときは、ガイド活動を中止しました。

夏休み期間中には、「子ども向け船の講座」や「ロープ作成体験」及び親子で体験する宿泊海洋教室を実施しました。11 月には、大人向け船の講座として「帆船日本丸飾り毛布体験教室」を外部から講師を招き開催しました。同講座では、参加者が日本船伝統のおもてなしである飾り毛布の製作を体験することができました。

これらの活動を通して市民の皆様には帆船日本丸から得られる知識や経験を共有していただき、帆船日本丸の 100 年保存に対する理解を得られるように努めました。



子ども向け船の講座
「潜水艇を作ってみよう」



大人向け船の講座
「飾り毛布を作ってみよう」

(3) 青少年錬成事業

帆船日本丸における錬成事業（海洋教室等）は、訓練施設において様々な体験型訓練と団体生活を行うことにより、時間厳守、公德心、体力・精神力の向上、注意力、友愛、協調性、責任感及び積極性を習得してもらうとともに、海・港・船に関する理解と知識の増進を図ることを目的としています。

令和6年（2024年）度はコロナ禍で実施を控えていた市内小学校の宿泊海洋教室の申し込みが増加し、横浜市工業会連合会主催の新人社会人研修を含め、計16回の宿泊海洋教室を実施しました。また、半日及び1日コースを含め、合計18回の海洋教室を実施することにより海事思想の普及を図りました。なお、実施に当たっては、実施団体と事前に訓練プログラムを調整し、可能な限り参加者の希望に沿ったプログラムを実施できるよう努めました。その他、昭和60年（1985年）から実施されてきた「よこはまこどもマリンスクール」の事業を支援しました。



海洋教室（甲板磨き）



よこはまこどもマリンスクール開校式

3 横浜みなと博物館事業

横浜みなと博物館では、コロナ禍前に実施していた事業を再開、また所蔵資料の保管環境保全等に努めました。

博物館ボランティアの活動は、展示案内は1時間のツアーを再開、教育活動は船のペーパークラフト教室を再開し、コロナ禍前と同様の活動内容となりました。

柳原良平アートミュージアムでは、他団体の協力を得て、二つの特集展示を実施しました。

特別展示事業では、横浜ベイブリッジと鶴見つばさ橋をテーマとする企画展を開催しました。

教育普及事業は博物館クイズラリーを継続、企画展関連事業、学芸員による展示解説などを行いました。夏休みには5年ぶりに「親子の海図教室」と「船と港の自由研究」を再開しました。その他、博物館内の展示収蔵環境保全業務を実施、また横浜市が大黒ふ頭に設置した収蔵施設に収めた資料等の点検を定期的に行い、資料の保全に努めました。



ツアー再開に向けた展示案内
ボランティア研修

(1) 常設展示事業

人気の映像展示等を常に良好な状態で管理し、多くのお客様に楽しく利用していただけるよう、日常の保守点検やトラブル時の速やかな対応に努めました。

10月より展示案内ボランティアによる約1時間のツアーを再開、来館されたお客様に常設展示への理解をより深めていただけるようになりました。



ガントリークレーンシミュレーター



書庫内での職員による清掃作業

お客様に快適な見学環境を提供し、資料を良好な状態で保つため、温湿度の定期的な計測とデータ分析を行うとともに、空気清浄機や除湿器などの運用を行い、展示什器他のカビ等の被害を未然に防ぐ取り組みを行いました。

2月のメンテナンス休館期間においては、館内整備作業のほか、収蔵庫や書庫などの博物館のバックヤードの整理を財団全体で実施しました。

(2) 特別展示事業

横浜ベイブリッジが開通 35 周年、鶴見つばさ橋が開通 30 周年を迎えることを記念し、企画展「横浜ベイブリッジと鶴見つばさ橋 港を支える長大橋」を開催しました。2つの橋の構造や建設工事の様子を再現した模型、建設中や開通当時の写真・パンフレット・記念品、架橋前の検討資料や完成予想図など約 300 点の資料を展示しました。

関連事業として、企画展の会場で学芸員による展示解説を実施しました。



企画展 展示風景



企画展 学芸員による展示解説

展覧会名	会期
企画展「横浜ベイブリッジと鶴見つばさ橋 港を支える長大橋」	9月14日～11月10日
パネル展「帆船日本丸附資料紹介展」	9月7日～9月29日

また、帆船日本丸の国指定重要文化財指定7周年を記念して、附資料である帆船日本丸の航海日誌や機関長日誌、原図や青図などについて紹介するパネル展「帆船日本丸附資料紹介展」を開催しました。



博物館ロビーで実施したパネル展

(3) 柳原良平アートミュージアム事業

特集展示では、令和6年(2024年)3月から10月までの会期で、特集展示「良平の横浜みなと街歩き」を開催しました。柳原良平が暮らした横浜の港と街を描いた作品を約20点展示しました。

10月中旬からは、特集展示「柳原良平の日本丸がいっぱい！」展を開催しました。令和6年の帆船日本丸記念財団40周年と令和7年の帆船日本丸公開40周年を記念して、帆船日本丸を描いた作品約40点を展示しました。また、令和7年に創設40周年を迎える帆船日本丸友の会に展示資料のご提供や広報についてご



「良平の横浜みなと街歩き」チラシ



「良平の横浜みなと街歩き」展示風景



「柳原良平の日本丸がいっぱい！」展展示風景

展覧会名	会期
柳原良平アートミュージアム特集展示 「良平の横浜みなと街歩き」	3月26日～10月14日
特集展示「柳原良平の日本丸がいっぱい！」展	10月16日～(2025年)5月6日

特集展示「良平の横浜みなと街歩き」関連事業としてNPO法人横浜シティガイド協会との共催で、博物館周辺の柳原のゆかりの地を解説付きで巡るガイドツアー「良平の横浜みなと・街歩き」を開催しました。

(4) 教育普及事業

令和6年(2024年)4月末より教育活動ボランティアによる「船のペーパークラフト教室」を再開しました。また夏休みには博物館ボランティアの協力を得て「親子の海図教室」「船と港の自由研究」を再開しました。クイズを楽しみながら博物館の展示を見学する博物館クイズラリーを継続実施したほか、3月末からは春休みクイズラリーを実施、大人向けと子ども向けの2種のクイズでお客様に博物館を楽しんでいただきました。



親子の海区教室



帆船日本丸附資料講演会の様子

国指定重要文化財指定7周年を記念して、帆船日本丸の重要文化財附資料とその指定範囲選定の経緯についての講演会を実施しました。

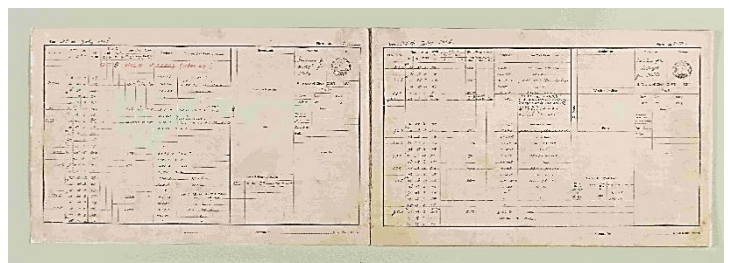
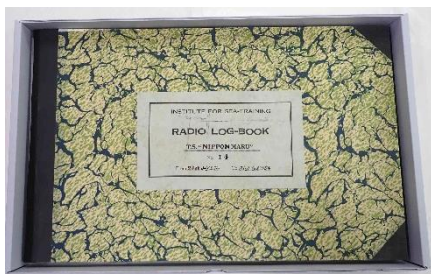
(5) 所蔵品の適切な管理

博物館の浸水対策として横浜市が大黒ふ頭に設置した収蔵施設を毎月点検するとともに、博物館内収蔵庫、書庫の環境保全及び資料・図書の良好な保管のため、定期的な清掃と資料の点検及び再梱包作業等を実施しました。

収蔵庫・書庫の環境保全活動については、燻蒸の実施及びその内容について横浜市と協議しました。職員による定期的な清掃点検と専門業者による環境調査の結果を踏まえ、令和6年(2024年)度は、専門業者による書庫・第1収蔵庫のクリーニング作業と、外部燻蒸庫での新規受け入れ資料等の燻蒸を実施しました。

8月から12月にかけて、書庫内の一部図書の蔵書点検を実施、所在の確認、データベースとの照合及び図書の清掃などを行いました。また、年度末には同じく書庫内の雑誌類保管場所の整理を行い、庫内の整理を進めました。

令和4年(2022年)に実施したクラウドファンディングのプロジェクトでは、帆船日本丸の無線日誌3冊の修復が完了しました。これにより本プロジェクトの作業が全て終了し、支援者へ終了報告を行いました。



修復が完了した帆船日本丸無線日誌

(6) その他

ア ボランティアへの対応

展示案内ボランティアによる展示室ツアーを再開するため、展示内容についての研修と併せ、学芸員とのマンツーマン研修を実施し、常設展示室を約1時間でご案内するツアーを10月から再開しました。

4月末から教育活動ボランティアによる船のペーパークラフト教室を再開しました。コロナ禍前のボランティア活動が全て再開となりました。新型感染症の流行や猛暑などを考慮し、様子を見ながら活動しました。

ボランティア活動に生かすとともに、ボランティア同士の交流を深めるため、館外研修を実施しました。



ボランティア研修 左)出発前のミーティング 右)コンテナターミナル見学

イ 助成金の獲得ほか

令和7年(2025年)度の企画展の事業助成を受けるため、みなとの博物館ネットワーク・フォーラム等3件の助成申請を行いました。また、令和7年(2025年)度実施の戦後80年関係資料公開についても1件の助成申請を行いました。令和6年(2024年)7月から博物館内に募金箱を設置し、来館されたお客様に博物館活動へのご協力をお願いしました。

ウ 令和7年度事業に向けた資料のデータ整理及びデジタル化

戦後80年の節目に、戦後占領期のSCAJAP番号標示船写真を公開するための準備を進めました。約3,000点の写真のデジタル化と2,000隻に及ぶ船舶情報データの作成を、専門家の助言を受けながら進めました。

重要文化財帆船日本丸附資料のうち、日本丸の日々の活動の記録である航海日誌70冊のデジタル化を実施しました。このうち、太平洋戦争期間中の航海日誌のデータについて、令和7年度の公開に向けた準備を進めました。

※SCAJAP番号標示船=太平洋戦争終戦後、連合国総司令部に日本商船管理局(略称SCAJAP(スカジャップ))が設置され、鋼船で100総トン以上の日本船はすべてここに

登録し、その登録番号である SCAJAP 番号を舷側に標示した船のこと。

エ 災害への対策

昨年度に引き続きお客様と職員、所蔵資料・図書の安全を守るため、一部の書棚等に落下防止ネットの取り付けを進めるとともに物品の整理整頓を行いました。水害対策については、収蔵庫内で保管する一部資料をより高い場所へ移動する取り組みを進めました。6月から7月にかけて、財団スタッフ参加による資料避難訓練を実施しました。あわせて、資料避難マニュアルの改正を行いました。



落下防止ネット装着



改正した資料避難マニュアル(部分)

4 みなとの賑わい創出事業

パーク内の賑わい創出や魅力向上を一層推進するため、パーク利用者への利便性の維持・向上に努めるとともに、都心部における貴重な水辺や緑地空間を最大限活用し、マリンスポーツの普及・啓発に資するシーカヤックやカヌーポロなどの教室の開催、さらにはパーク広場でのイベントなどの利用促進等に取り組んでいます。

(1) 利用者への利便性向上

帆船日本丸及び横浜みなと博物館を訪れるインバウンド旅行者の利用も視野に入れながら、利用者の利便性向上を図るため、令和4年(2022年)度から各券売窓口でクレジットカードや電子マネーの利用が可能なレジシステムを導入し、入館料のキャッシュレス化に取り組んでいます。

(2) 水辺の事業

都心のインナーハーバーに立地する好条件を生かした、水辺に親しむ体験型事業を実施し、みなとの賑わい創出に貢献しました。

シーカヤック教室では、日本丸メモリアルパークの内水域及び自動車道側水域を中心に、NPO法人横浜シーフレンズと連携し、教室を開催しました（計 58 回開催、延べ 732 人参加）。



シーカヤック教室

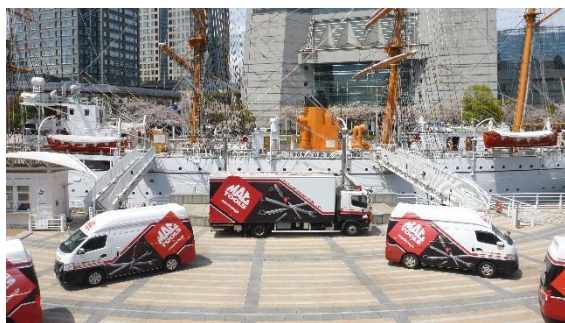


カヌーポロ教室

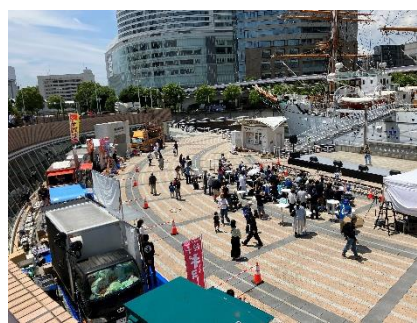
カヌーポロ教室では、横浜市カヌー協会及びNPO法人横浜カヌー倶楽部と連携し、大人から子どもまで広い世代で参加できるように、上達レベルを合わせて教室を開催しました（計 13 回開催、延べ 182 人参加）。

(3) パーク利用事業（イベント）

市民交流やコンサートをはじめとする音楽イベントなどが開催されました（計 86 件）。「T00L FAIR 2024 Spring」やパーク全域を利用して「横浜開港祭」、横浜市関連では、「GREEN×EXPO 2027開催1000日前イベント」「Live！横浜」が行われました。



T00L FAIR 2024 Spring



横浜開港祭

公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト助成事業でもある「横浜舞踏会」ではメイン会場となり、パーク内は多くの来場者や出演者で賑わいました。



横濱舞踏会



ドラムコー・ジャパンによるマーチング

(4) ミュージアム・ショップ事業

港への理解や横浜港の役割に関する学びをより深める書籍や展覧会図録、帆船日本丸、横浜みなと博物館及び柳原良平アートミュージアムにお越しいただいたお客様の記念になるオリジナルグッズなどを販売しました。



「オリジナルトートバッグ」



「柳原良平モバイルクリーナー」

遠方にお住まいの方でも書籍や図録を購入しやすいよう、オンラインショップを運営しました。(国内のみ)

オンラインショップ



5 緑地管理・活用及び研修施設事業

市民や来街者の憩いの場となるよう、緑あふれる緑地を形成し、都心のオアシスとして緑地景観の維持とともに、快適な空間形成の創出に努めました。

研修施設（訓練センター）等を最大限に活用し、企業の会議の場として、イベント・撮影等の控室として、様々な用途に対応しながら、利用促進に取り組みました。

(1) 緑地の維持管理・活用

ア 安全管理

市民をはじめ様々な来場者がパークを安全かつ快適にご利用いただけるよう、施設を常時点検し、破損個所については速やかな補修や修繕等を実施しました。

パーク内の高木については、枯枝が来場者に落下する危険性を防止するため高所作業車などを利用し、枝下ろしを行いました。

緊急放送に使用する屋外スピーカーを交換しました。

緑地の歩道の安全対策について、老朽化によるブロック・タイルの浮き・割れが発生し、来場者がつまずき転倒する事故を未然に防止するため補修を行いました。



タワー棟にかかるクスノキの剪定



屋外スピーカーの交換



歩道ブロックの段差補修

イ 環境管理

パーク内の緑地景観を維持し、来場者の憩いの空間となるよう、植栽等を適切に管理しました。快適に見学していただくため、季節に応じた花壇を配置したほか、グリーンボランティアの協力による雑草処理を実施しました。

また、ネズミによる花への食害が発生しており、対策を継続しています。



グリーンボランティアの活動風景：雑草処理



大岡川プロムナード花壇

ウ 撮影

緑地や帆船日本丸をはじめとして、パーク内の魅力的な空間や様々な施設、設備を利用し、テレビドラマ・映画・CM・雑誌・ウェディングフォトなどの撮影が行われました（179件）。



ドラマ撮影風景



ウェディングフォト

(2) 研修施設（訓練センター）の管理運営

訓練センターでは、コロナ禍で控えていた会議室の利用条件の制約を令和5年（2023年）度から解除し、多くの利用者に円滑に使用していただくように努めました。

プレゼンテーションルームについては、アリーナに直結するという利便性から、パークで行うイベントの控室や会場、また各種研修の会場としての利用に供しました。

設備面では、第3会議室のマイクシステムを更新したほか、老朽化した男子、女子トイレの更新工事を行い、温水便座を完備した清潔感のあるトイレに改修し、利用者の利便性の向上に努めました。



改修後の女子トイレ

6 集客増に向けた主な取組

(1) 法人マーケット（教育旅行及び企業・団体等法人）への取組

ア 教育旅行マーケット

ヨコハマ SDGs デザインセンターと共同開発した「SDGs 学習プログラム（テーマ：水）」のチラシを作成したほか、公益財団法人日本修学旅行協会発行の「月刊教育旅行」への広告掲載や公益財団法人横浜市観光協会（以下 横浜市観光協会）の情報サイトへの発信を行いました。

学校団体誘致促進のため、旅行会社の教育旅行部門への営業を行っています。

豊島区立中学1年生の宿泊研修を実施しました。（8校 928名）



SDGs学習プログラム
「テーマ：水」
（月刊教育旅行掲載）

イ 企業・団体等法人マーケット

MICE、企業活動等での施設利用促進のため、パシフィコ横浜への施設情報発信を継続しました。

(2) 個人マーケットへの取組

ア 情報発信

集客増のベースとなる個人誘客拡大に向け、ターゲット・シーズン・施設イベントに合わせた適切な手段による情報の発信・拡充を継続しました。

イ 新規コンテンツの販売（令和6年4月開始）

「横浜港時空トラベラー・リアル宝探し（謎解き）キット」の販売を開始し、3月末での販売は2,000キットとなりました。新規のお客様の獲得にもつながりました。



ウ 外国人誘客拡大

外国人客の入館者を増やすため、テストケースとして「Visit Nipponmaru」キャンペーンを12月～1月の2か月実施しました。外国人向けのポスターを作成し、共通券の50%引き（大人のみ）を実施した結果、2か月間の外国人入館者は、前年比126%となりました。



「Visit Nipponmaru」キャンペーン 外国人向けのポスター

エ 旅行会社・チケット販売会社との連携

旅行会社の個人用旅行商品及びチケット販売会社のプランへの参画を継続しました。

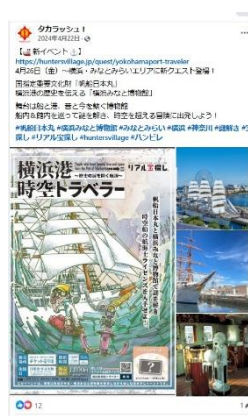
WEB販売として、「JR東海ツアーズ 旅先予約」・「じゃらん 遊び・体験」と新規に契約しました。

(3) 広報・宣伝への取組

公式サイト・SNS（主にInstagram）を含めた無料媒体を活用した情報発信を行い、露出拡大に取組みました。

観光情報サイト・雑誌等（横浜観光情報・るるぶ・まっぷる・横浜 Walker 等）への情報掲載のほか、広域・様々な客層に向け、Google のディスプレイ広告配信を実施しました。

特に「横浜港時空トラベラー・リアル宝探し（謎解き）」は、国指定重要文化財での初めての実施ということで、多くのメディアや媒体各社に掲載されました。



タカラッシュ! Facebook 記事掲載



月刊教育旅行 広告掲載



(4) 地域連携による賑わいの創出

一般社団法人横浜みなとみらい21、横浜市観光協会、パシフィコ横浜、近隣ホテルなどと連携・協力を図り、回遊性を高める取組みを推進しました。

7 組織運営の質的向上に向けた取組

日本丸メモリアルパークを訪れる全てのお客様に満足していただけるよう使命感を持って業務に取り組むとともに、職員が働き甲斐のある職場づくりを進めました。

(1) 風通しの良い職場作り

日々の朝礼で情報共有を徹底することにより円滑に業務を進めました。管理職による定例会議を実施し、経営方針及び懸案事項の検討を行うとともに、職員ミーティングでの説明・共有を行いました。

(2) 研修の実施

人権啓発研修、情報セキュリティ・個人情報保護研修等を実施しました。

さらに、横浜市外郭団体及び関係団体による5団体合同で、外部講師による人材育成研修を実施し、職員の資質向上に向けて取り組むとともに、団体同士の連携を深めました。

(3) 安全対策の取組

安全衛生委員会で職員の労働安全について進めるとともに、ヒヤリハット事例の共有により、来館者の安全確保に向けた取組、労働災害の発生防止、職員の健康保持増進に向けた取組を進めました。

防災訓練については、自主訓練、みなとみらい21地区合同防災訓練等のほか、文化財保護デーに合わせて消防署の協力により、帆船日本丸での訓練を実施しました。

(4) アンケート調査（モニタリング）の実施

QRコードによる非接触型のオンライン回答により、8月1日から12月15日まで実施し、210件の回答を得ました。調査結果の主な内容は次のとおりです。

ア 来場者の傾向

初めて来場した方は、帆船日本丸では64.4%、横浜みなと博物館では59.6%と、昨年度より増加しました。また来たいかという質問に対し、「ぜひ来たい」「機会があれば来たい」と答えていただいた方は、日本丸では97.4%、横浜みなと博物館は96.8%でした。「総帆展帆を見てみたい」というご意見が複数寄せられました。

イ スタッフの対応

来館者に関わるのは主に博物館の受付スタッフと、ボランティア（日本丸船内のガイドボランティア、博物館の展示案内ボランティア）に分けられます。「大変満足」「満足」と回答していただいた方の割合は、帆船日本丸では94.9%、横浜みなと博物館では96.1%と、どちらも高い評価をいただきました。

ウ 総合的な満足度

帆船日本丸では96.2%、横浜みなと博物館では96.8%でした。いずれの施設にも満足いただけなかった方は210人中2人（1.0%）でした。昨年度に比べて博物館の満足度が大きく向上しましたが、令和6年度企画展（9月14日-11月10日）の開催期間が入っていたためと考えられます。

引き続き、来場者に気持ちよく利用していただくために、おもてなしの心で常に改善を行い、満足度の向上に努めていきます。

8 令和6年(2024年)度事業一覧表

【帆船日本丸事業】	
帆船日本丸公開	船内を年間277日一般公開、公開日は次の日を除く毎日 ・月曜日 (祝日に当たる時は公開、翌日が休館日) ・年末年始 (12月29日～1月3日) ・船体整備 (1月28日～2月28日)
展帆(12回) 延べ 1,045 人のボランティアが参加	4月21日(日)、4月28日(日)、5月6日(月・休)、5月26日(日)、 6月9日(日)、9月8日(日)、9月22日(日・秋分の日)、10月6日(日)、 10月13日(日)、10月20日(日)、11月3日(日・文化の日)、 11月10日(日) ※4月21日、4月28日、5月26日、6月9日、10月6日、10月13日、 11月3日、11月10日は総帆展帆 その他は部分展帆。
満船飾(14回) 国民の祝日等に実施	4月29日(昭和の日)、5月3日(憲法記念日)、5月4日(みどりの日)、 5月5日(こどもの日)、6月2日(開港記念日)、7月15日(海の日)、 8月11日(山の日)、9月15日(重要文化財指定記念日)、10月14日(スポーツの日)、 11月3日(文化の日)、11月23日(勤労感謝の日)、1月13日(成人の日)、 1月27日(日本丸進水記念日)、3月20日(春分の日) ※9月16日(敬老の日)、9月22日(秋分の日)は雨天のため実施せず。 ※2月11日(建国記念の日)、2月23日(天皇誕生日)は船体整備期間のため実施せず。
海洋教室	<半日・1日・宿泊コース> 合計18回(参加者945人) ・半日コース: 5月25日(35人) ・1日コース: 10月4日(67人) ・宿泊コース: 4月4日～5日(37人)、5月22日～23日(57人)、 5月30日～31日(51人)、6月5日～6日(61人)、 6月13日～14日(66人)、6月19日～20日(81人)、 6月27日～28日(83人)、7月2日～3日(46人)、 7月6日～7日(16人)、7月27日～28日(18人)、 8月17日～18日(29人)、8月22日～23日(26人)、 9月15日～16日(85人)、9月26日～27日(50人)、 10月17日～18日(78人)、10月30日～31日(59人)、 <親子展帆・ロープ教室・出張海洋教室> 合計8回(参加者350人) ・親子展帆: 5月5日(81人)、6月1日(66人)、 6月2日(51人)、11月23日(37人) ・ロープ教室: 8月9日(2人)、8月10日(2人)、8月11日(3人) ・出張海洋教室: 10月19日ほどがや区民まつり(108人)
教育普及事業	実施回数3回(参加者51人) ・子ども向け船の講座『潜水艇を作ってみよう』8月11日(11人) ・大人向け船の講座『「飾り毛布」体験教室』11月24日(18人) 『戦後80年 戦火をくぐった日本丸』1月26日(22人)
総帆展帆協力者登録数	登録されている市民ボランティア 2,376人 ※新規展帆ボランティア養成訓練(計25人参加): 4月期・10月期に各1回実施(4課程)
日本丸船内ガイド登録数	登録されている市民ボランティア 43人
甲板清掃ボランティア等	真ちゅう磨きなどの整備作業を実施(作業日 176日、延べ 1077人)
その他	・登壇礼: 6月2日(日・開港記念日) 実施(80人参加)

【横浜みなと博物館事業】	
常設展示事業	年間301日一般公開、公開日は次の日を除く毎日 ・月曜日（祝日に当たる時は公開、翌日が休館日） ・年末年始（12月29日～1月3日） ・1月29日～2月4日（燻蒸及び館内整備） ※10月より展示案内ボランティアによる約1時間の展示案内ツアーを再開 ※8月16日 台風7号接近のため臨時休館
特別展示事業	1 企画展「横浜ベイブリッジと鶴見つばさ橋 港を支える長大橋」 会期：令和6年9月14日(土)～11月10日(日)(6,091人) ・報道機関向けの内覧会（9月13日、4社5名参加） ・学芸員による展示解説(9月23日、10月26日、11月10日、110人参加) ※各日午前午後(計6回)実施 2 新着資料展示 ・4月2日～11月17日(53,746人) ・11月19日～3月30日(23,077人) 3 重要文化財指定7周年記念 帆船日本丸附資料紹介展 9月7日～29日 13,466人
柳原良平アートミュージアム事業	1 特集展示「良平の横浜みなと街歩き」 会期 3月26日～10月14日 44,028人（4月1日～10月14日まで） 2 特集展示「良平の横浜みなと街歩き」関連事業 ガイドツアー「良平の横浜みなと・街歩き」 9月28日、10月9日、10月14日 58人 ※共催：NPO法人横浜シティガイド協会 3 特集展示「柳原良平の日本丸がいっぱい！展」 会期：10月16日～5月6日（～3月30日まで 32,797人） ※協力：帆船日本丸友の会
教育普及事業	1 博物館クイズラリー（110回、2,779人） 土曜日、日曜日、祝日実施 2 楽しい船のおりがみ教室（74回、744人） 土曜日実施 教育活動ボランティアにより実施 3 船のペーパークラフト教室（81回、203人） 日曜日実施※4月28日より再開 教育活動ボランティアにより実施 4 学芸員のワンポイント展示解説（34人） 7月27日、9月28日、11月9日、1月11日、2月8日 5 親子の海図教室 8月10日 102人 教育活動ボランティアの協力により実施 6 夏休み・船と港の自由研究 8月9日、11日、13日、14日、15日 19人 展示案内ボランティアの協力により実施 7 講演会「重要文化財帆船日本丸と附について」 9月16日 講師：飯田敏夫理事 22人 8 春休みクイズラリー（3月22日～30日 237人）
調査・研究・収集・出版活動事業	1 資料調査・研究等事業 横浜港を中心とした資料の調査、研究、収集、整理、保存を行い、その成果を公開及び展示・教育活動に反映 ・資料整理のデータベース化を推進 ・受け入れ済み資料画像3026点をデータベースに登録ならびに約2000点の資料データを入力

	・寄贈2,885点、購入8点、採集177点 ・環境調査実施「常設展示室、収蔵庫・書庫」(8月22日) ・外部収蔵庫での燻蒸(1月14日～1月18日) ・第1収蔵庫・書庫クリーニング(2月3日～6日) ・港内撮影、初入港客船・帆船等の撮影 52回 ・収蔵庫の整理を2月のメンテナンス期間中に財団スタッフの協力を得て実施 2 出版活動 ・企画展「横浜ベイブリッジと鶴見つばさ橋 港を支える長大橋」展示図録 ・図書館(市内・近隣)、近隣施設、市内県内博物館、東京・関東博物館などに送付(100か所) 3 資料貸出・レファレンスサービス等 ・資料(画像)貸出：株式会社二葉、一般財団法人産業遺産国民会議など、25件 74点 ・資料特別利用：フェルケール博物館、国立歴史民俗博物館等 131点(閲覧・撮影) ・資料貸出：茅ヶ崎市美術館、フェルケール博物館、横浜都市発展記念館3件
ライブラリー事業	横浜港や船、海に関する図書・逐次刊行物等を収集・整理・公開し、小学生から専門家に学習・研究の場を提供。データベース化の蔵書情報はWebサイトで公開 1 利用方法(料金等) 博物館の入館者の利用は無料。ライブラリーのみ利用は1人100円。コピーサービス(有料)のほか、レファレンスサービスを実施 2 収集・整理 ・横浜港、港運、海運、船舶、航海等に関する図書、逐次刊行物等を収集 (購入25冊・寄贈154冊・その他26冊) ・図書のデータベース化(26,705冊)及び保守点検 ・データベース修正作業実施 ・書庫内一部(5門 6996冊)図書蔵書点検実施 8月～12月 18回 ・書庫逐次刊行物及び棚整理を2月のメンテナンス期間中に財団スタッフの協力を得て実施
施設外部貸出	1 特別展示室 (一社)ポジティブスポーツ振興協会 1件 2 常設展示室1階展示スペース 関東海事広報協会、第三管区海上保安本部、(一社)ポジティブスポーツ振興協会 計3件
その他	1 視察対応(2件) 2 大黒収蔵施設内資料の点検作業(13回) ※4月より収蔵庫・倉庫ともに入庫記録表記載 3 出張講演、シンポジウム登壇(オンライン含む)、執筆等(10件) 4 博物館ボランティア館外研修 10月31日(26人) 5 展示案内ボランティアご案内の確認 10月2日～30日(24人) 6 令和7年度企画展助成申請(3件) ・みなとの博物館ネットワーク・フォーラム ・芸術文化振興基金

	・公益財団法人花王 芸術・科学財団美術展覧会助成 - 令和7年度戦後80年事業関係助成申請（1件） ・一般財団法人山縣記念財団 7 職場体験学習受け入れ（2件） 8 クラウドファンディング（令和4年実施）関連事業 ・無線日誌修復状況見学及び調査等 1回 ・修復した無線日誌3冊納品（12月25日） 9 災害対策 書棚等：落下防止ベルト・ネット装着（13か所） 資料避難マニュアル改正 資料避難訓練（6月25日、27日、28日、7月4日、11日実施 25人参加） 防水テープ設置 資料梱包変更（約100箱） 10 重要文化財帆船日本丸附資料航海日誌70冊デジタル撮影実施 2月17日～3月14日
【みなとの賑わい創出事業】	
水辺の事業	1 シーカヤック教室 ・通年開催58回（732人） 2 カヌーポロ教室 ・4月～10月 13回（182人）
パーク利用事業	1 音楽・ダンスイベント（貸出） ・DCJ ドラムコープレビュー ・真夏のアイドル SPLASH 祭り ・アロハフラ ・ICEx メジャー1st アルバム「Retro Toy Pop」発売記念イベント 2 横浜市・みなとみらい21関係（貸出・協力） ・Live! 横浜 ・GREEN×EXPO 2027 開催1000日前イベント ・横浜開港祭 ・自動車道における生物調査（アマモ観察・協力） 3 その他（展示・SDGs・ワークショップ等）（貸出） ・さかな文化祭 ・N-VAN e:公道試乗車 ・オリジナルTシャツフェスティバル
ミュージアム・ショップ事業	海・船・港への学びを深める書籍や展覧会図録、オリジナルグッズの販売とオンラインショップの運営 ○主な新規取扱商品 1 横浜みなと博物館企画展図録 ・横浜ベイブリッジと鶴見つばさ橋 2 企画展関連グッズ ・＜柳原良平デザイン＞ベイブリッジ完成予想図ポーチ ・日本手拭い 鶴見つばさ橋（企画展会期中のみ） 3 柳原良平アートミュージアム特集展示関連グッズ ・＜柳原良平デザイン＞オリジナルトートバッグ ・＜柳原良平デザイン＞良平マグネット（丸） 4 その他 ・「はえのおもかじ日誌 帆船日本丸展帆ボランティア活動記」

【緑地管理・活用及び研修施設事業】	
緑地の維持管理・活用	パーク来場者の快適な利用に向けた安全管理と緑地景観の維持 - 緑地 歩道ブロック等の維持補修、季節に応じた植栽管理、プランターや芝生の鼠害対策、樹木の枝の剪定 - 撮影 ＴＶドラマ、映画、ＣＭ、雑誌等（１７９件）
グリーンボランティア	登録されているボランティア１２人が年間を通じて活動 - 主な活動内容 ・カラスやトンビなどからの危害防止及び害虫駆除 ・花壇・プランターの植栽手入れ ・横浜みなと博物館屋上芝生の手入れ - その他の活動 ・水域を含むパーク内及び周辺歩道の清掃 ・さくら通り「まちかど花壇」緑花維持管理作業
研修施設の管理運営 (訓練センター、プレゼンテーションルーム)	- 貸出期間（次の日を除く毎日） ・月曜日（祝日に当たる時および特別開館日は貸出、翌日が休館日） ・年末年始（１２月２９日～１月３日） ※設備点検による貸出不可日あり - 予約システムＷｅｂサイトの日常点検、修正 - マイク等機材の消毒・衛生管理を継続して徹底 - 第３会議室のマイクシステムの改善 - 男子、女子トイレの大規模改修
【集客増に向けた重点取組】	
法人マーケット	- 教育旅行マーケット 来校実績５５０校（前年比５０校増） ・豊島区立中学校８校連合行事の受入れ【継続】 ８校・延べ９２８人 ・教育プログラム「みなとの学校 In YOKOHAMA」販売（ＪＴＢ横浜支店との協働） ・ＳＤＧｓプログラムの制作 ・『月刊教育旅行』への広告掲載（修学旅行誘致） - 企業・団体等法人マーケット ・「ＪＴＢならではの(団体旅行商品)」プラン参画
個人マーケット	- オンライン販売(E-ticket) ・海外旅行オンライン予約販売開始(アソビュー社) - リアル販売 ・ぐるっとパス ・旅行社(ポケットカルチャー、YDMS、JTB)の企画商品への参画 - 外国人マーケット(直近８年で最高実績) ・多言語対応用カードや英語版リーフレットを整備 ・有料入館者数 8,857人 - 新規マーケット開拓 ・地域連携による情報発信及び新規需要掘り起し ・みなとみらいアート&ミュージアム構想への参画 ・リアル宝探し(謎解き)コンテンツ制作 (令和６年４月２６日から販売)

広報・宣伝	企画展、特集展示を中心とした、多彩な広報宣伝・プロモーション ・年間広告宣伝出稿実績291件（前年比70件増） ・Instagram活用（フォロワー数1,806人） ・新聞社、TV、ラジオ局等、各メディアへの情報発信 ・デジタルサイネージ ・web (Yahoo!、Google)ディスプレイ広告 ・観光情報サイト、地域誌への掲載 横浜観光情報、MinatoMirai21、ヨコハマ経済新聞、タウンニュース、るるぶ横浜等 ・近隣企業との連携企画 横浜ロイヤルパークホテル ありあけハーバースタジオ そごう横浜店など
-------	--

【組織運営の質的向上に向けた取組】

各種研修の実施状況		主催：【財】は財団、【他】は他団体	
月日	研修名	人数	主催
4月1日	新採用職員研修	4人	【財】
4月8日	展帆ボランティア墜落制止用器具特別教育(学科)	5人	【財】
4月8日 9日	公益財団法人会計セミナー	1人	【他】
4月 8日9日 16日23日	新規展帆ボランティア養成訓練	8人	【財】
4月14日	資料クリーニングレクチャー	10人	【財】
4月18日	展帆ボランティア墜落制止用器具特別教育(学科・実技)	1人	【財】
4月22日	展帆ボランティア墜落制止用器具特別教育(実技)	3人	【財】
5月 20日21日 30日31日	VR及び大型映像新プログラム財団スタッフ向け視聴会 (8回実施)	34人	【財】
5月30日 31日	公益財団法人会計セミナー	1人	【他】
9月 3日30日	展帆ボランティア墜落制止用器具特別教育(学科)	4人	【財】
9月 9日17日 27日 10月 1日19日	展帆ボランティア墜落制止用器具特別教育(実技)	6人	【財】
10月1日	新採用職員研修	1人	【財】
10月 5日12日 14日	新規展帆ボランティア養成訓練	23人	【財】
10月15日	クレーン特別訓練	5人	【財】
11月5日	年末調整説明会	1人	【他】
10月31日	ボランティア館外研修「横浜港施設見学会」	26人	【財】
11月14日	AED訓練	21人	【財】
11月20日	労務セミナー	1人	【財】

11月22日	救急救命講習	2人	【他】
11月29日	救急救命講習	1人	【他】
12月3日	企業人権啓発研修	1人	【他】
12月5日	情報セキュリティ・個人情報保護研修	25人	【財】
12月6日	救急救命講習	2人	【他】
1月10日	防災講演会	2人	【他】
1月27日	文化財保護デー防災訓練	25人	【財】
1月30日	経理研修	15人	【財】
1月21日 2月14日	人材育成研修	13人	【財】
2月4日	情報セキュリティ・個人情報保護研修	25人	【財】
2月3日	新しい公益法人制度・公益法人会計基準への実務対応	4人	【他】
2月16日	ボランティア感謝会講演会	100人	【財】
3月5日 12日	人権啓発研修	52人	【財】
3月10日	MM21合同防災訓練	2人	【他】
3月13日	止水板設置訓練	20人	【財】
3月20日	コンプライアンス委員会	8人	【財】